

位置情報共有アプリについて

さまざまな機能を持ったスマートフォン用のアプリが日々開発されていますが、中でも最近子どもたちのあいだで人気となっているのが、位置情報共有アプリです。位置情報共有アプリは利用者同士でお互いの居場所を共有し合えるもので、待ち合わせにとっても便利ですが、使い方によってはトラブルのきっかけとなる危険性もあります。

今回は、そんな位置情報共有アプリについてお話ししたいと思います。

位置情報共有アプリの機能の例

位置情報共有アプリの基本的な機能は、友だちとしてつながった利用者同士がお互いの居場所を地図上で確認し合うことができるというのですが、それ以外にも各サービスごとにさまざまな機能が備えられています。

位置情報共有アプリの機能の例

- ・友だちの現在地の他に、その場所での滞在時間を確認することができる
- ・友だちのスマートフォンの電池の残量を確認することができる
- ・友だちによって、自分の位置情報を知らせなくしたり、大まかな位置しか知らせないようにしたりすることができる
- ・友だちとメッセージのやりとりができる



子どもたちは位置情報共有アプリを、友だちとの待ち合わせに利用する他、近くにいる友だちを探して遊びに誘うときなどに利用しています。また、スマートフォンをなくしてしまったときに、友だちのスマートフォンからどこにあるのか探してもらうといった使い方もできます。



ストーカー被害にあうことも

位置情報共有アプリを利用して起こりうるトラブルとしては、ストーカー被害があげられます。

位置情報共有アプリでは知らない人から友だち申請がくることがありますし、自分のIDをSNS上で公開している利用者もいます。また、インターネット上には位置情報共有アプリの友だちを募集する掲示板まであり、まったく面識のない人と友だちとしてつながっているという利用者も少なくありません。そんなふうにしてつながった面識のない人からストーカー被害を受けてしまうケースがあるのです。



位置情報共有アプリは待ち合わせなどに便利な反面、面識のない人とつながってストーカー被害を受けてしまう可能性もあります。そのことを子どもたちに認識させ、もし利用する際は、自分のIDをインターネット上で公開しないこと、面識のない人とは絶対につながらないことを気をつけるよう指導していくことが大切です。